

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	行革推進課担当課長	服部 基己
経企一07 行財政改革推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	行革推進課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	経営企画課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針
		行財政運営	行財政運営

1 事業の目的

対象	市職員等
意図	本市の厳しい行財政運営の中、限られた行政資源を効果的・効率的に運営するため。
効果	健全で市民にわかりやすい効果的・効率的な都市経営の実現

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革の推進及び進行管理、鎌倉行革市民会議の開催を行った。 ・業務改善を図るため、業務分析を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	1,679	2,410	当初予算(千円)	2,526			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	945	965	その他	972			
	一般財源	734	1,445	一般財源	1,554			
	人員配置数	2.5	2.5	人員配置数	2.5			
事業経費運営	人件費(千円)	18,414	18,699	人件費(千円)	19,024			
	総事業費(千円)	20,093	21,109	総事業費(千円)	21,550			
	市民1人当りの経費(円)	113	119	市民1人当りの経費(円)	122			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉行革市民会議

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容	行財政改革に関する現状の取組に即して、鎌倉行革市民会議を改編する。 事業へ統合
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業に対する適正な職員数の配置と業務改善の推進を図るため、今後も業務量調査を実施する。また、鎌倉行革市民会議を改編し、専門家による助言を受ける場の設定を進める。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	第4次鎌倉市行革のプランの進行管理を行い、社会情勢や市民ニーズに合わせた効率的・効果的な市政運営の実現を目指していく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	第4次鎌倉市行革プランの策定と進行管理を行う必要がある。 業務をより効率的かつ効果的に遂行するため、事業に対する適正な職員数の配置と業務改善を行う必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	新鎌倉行政経営戦略プランに対する行革市民会議からの指摘内容や実施計画の策定状況、包括予算制度の導入状況を踏まえつつ、各部の行政課題約70件について理事者と協議を行い、第4次鎌倉市行革プランを策定した。また、障害者福祉課を対象として平成26年度に実施した民間委託による業務量調査の結果に基づき、業務量に応じた適正な職員配置の検討及び業務改善に取り組んだ。加えて、保育課を対象とした業務量調査を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	第4次鎌倉市行革プランを策定したが、今後は取組の着実な進行と評価方法を検討し進めていく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	行政改革取組状況 行財政改革の包括計画策定の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	包括的な行財政改革の計画の必要性や役割を確認するために、他市の策定状況等を把握する。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	市民意識調査結果における「鎌倉に住み続けたい」と感じる市民の割合						単位	%	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
行財政改革推進事業の最終的な目的は市民満足度の向上であり、それは「鎌倉に住み続けたい」という数値に顕在化すると考えられるため	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		H27の実績値は、平成28年4月時点の意識調査集計データ(暫定値)	
	実績値	84.7	83.1							
	達成率	84.7%	83.1%							

指標の内容							単位		指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容							単位		指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---